

◆小樽開発建設部の事業の進め方 ～「世界の後志」を目指して～

小樽・後志地域は、ブランド力のある果樹・米・野菜や水産物などの多様と美味に満ちた「食」と、小樽・ニセコ地域など内外から多くの観光客を引きつける「観光」の魅力を併せ持つ、北海道総合開発計画が掲げる「世界の北海道」を象徴するポテンシャルの高い地域です。

小樽開発建設部では、この地域の潜在力を引き出し、小樽開発建設部のスローガンである「世界の後志」を実現するため、各種社会基盤整備などを鋭意実施し、「農林水産業・食関連産業の振興」、「世界水準の観光地の形成」、「強靱で持続可能な国土の形成」等に取り組み、ALL後志を意識した地域づくりを進めています。

地域を支える小樽開発建設部

■ 農林水産業・食関連産業の振興

- 当部では、管内の食糧供給力や競争力を向上させ、農林水産業の持続的発展を図るため、国営土地改良事業を実施しています。
- 地域で生産されたメロンとスイカは、国道5号を經由し小樽港等から中京、関西、九州市場等の各市場へ輸送されます。
- 倶知安余市道路の延伸により、収穫作業や選果作業の時間的余裕が生まれるとともに、振動や加減速による荷傷みを軽減し、品質を確保した輸送が期待できます。



農産物の生産性・品質向上と物流機能の強化に寄与

■ 世界水準の観光地の形成

- 冬季はパウダースノーを、夏季はアウトドアアクティビティを楽しみに、多くの国内外の観光客が、新千歳空港、小樽港及び札幌市からニセコエリアを訪れます。
- ニセコ羊蹄エリアへの移動時間の短縮、走行の安全性及び快適性の向上などを目的に、倶知安余市道路の整備を行っています。
- 流域資源の魅力を向上させる尻別川河川環境整備や、道路標識の外国語表記など、世界水準の観光地の形成に資する取組を、地域と協働して行っています。



移動時間の短縮、安全性及び快適性が向上

Topics : i-Construction モデル事務所

小樽開発建設部では、管内の工事現場において、i-Constructionの導入を促進し、ICT工事の普及・推進を円滑かつ効率的に図り、発注者と建設業界(工事施工業者・設計測量コンサルタント)が一体となって関係機関や団体と相互に連携しながら、後志地域の建設業における『生産性の向上』と、『魅力ある建設現場』を目指しています。

また、平成31年3月には、i-Constructionの取組を先導する『i-Constructionモデル事務所』として全国で10事務所が選定され、北海道では唯一「小樽開発建設部」が位置付けられました。

集中的かつ継続的に3次元データを利活用することで、事業の更なる効率化を目指します。



現地研修会



講習会

◆事業費

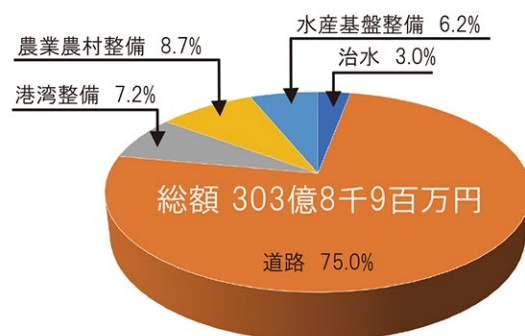
令和2年度事業費総括表

事項	令和2年度予算額
治水	8億9千7百万円
道路	227億8千万円
港湾整備	21億8千7百万円
農業農村整備	26億5千万円
水産基盤整備	18億7千5百万円
計	303億8千9百万円

注) 1 治水には年水環境整備を含む
2 農業農村整備及び水産基盤整備を除き、工事諸費は含まれていない
3 四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合がある

※ このほかに令和元年度補正予算総額55億5千4百万円

事業別の構成



注) 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある